

CONTENTS

東北森林管理局長 年頭所感	1
地域のこの人	2
地域発NEWS	3~6
国有林野所在市町村の魅力紹介	7~8
使える！行政情報&	9
研究・技術の参考情報	
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの

Midori no Tohoku

東北

No.250

令和7年 2025.1

林野庁 東北森林管理局

Tohoku National Forest Regional Office



冠雪の鳥海山〔庄内森林管理署〕

水平線の先に見えるのは、雪に覆われた鳥海山（標高2,236m）です。山形と秋田の県境にそびえる東北の名峰は、日本海まで裾野を広げ、出羽富士とも呼ばれています。

令和7年 東北森林管理局長 年頭所感



東北森林管理局長
大 政 康 史

新しい年を迎え、謹んで御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平素より、東北森林管理局の業務運営につきまして格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

昨年は1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、

地震や台風、前線等を起因とする自然災害が全国各地で多発し、当局管内においても7月豪雨で秋田県、山形県に甚大な被害が出るなど、管内各県で災害が発生しました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。当局としましては、国民の安全・安心な暮らしを守るため、国有林内の災害復旧はもとより、民有林の災害調査の支援を行うなど各県や市町村等と連携・協力し、民有林も含めた災害に強い健全な森林づくりによる国土強靱化をより一層推進してまいります。

さて、林野庁では、「花粉症に関する関係閣僚会議」で取りまとめられた方針を踏まえ、花粉症対策を加速して進めているところです。具体的には、10年後には花粉発生源となるスギ人工林を約2割減少させ、将来的には30年後に花粉発生量を半減させることを目標としています。

花粉発生源であるスギ人工林の伐採・植え替えを進める中で重要となるのが、植え替えの際に樹種や品種にこだわった苗木を選定することです。花粉の少ない苗木であることに加え、成長の良いものであれば下刈省略等による保育経費の節減や主伐時の丸太量の増加が期待できます。農林水産省では特に成長が良く材質に優れ、雄花の着生が半分以下などの特定の条件を満たした母樹を「特定母樹」として指定し、その増殖の実施の促進を図っています。東北地方においては特定母樹の指定数は多いものの、特定母樹から増殖した「特定

苗木」の生産は本格化していないところです。当局としては今後、特定苗木の供給状況を見つつ積極的に使用していきたいと考えています。

また、森林資源が利用期を迎えている中で、「伐^きって」建築物等に「使^もって」、得られた収益をもとに「植^きえて」「育^そでる」ことで、再生可能な木材資源の好循環が確立され、林業や木材産業の成長産業化に加えて、地域の活性化が図られることとなり、その鍵となるのが、適切な「木材利用」であると考えています。

樹木は、空気中の二酸化炭素を吸収しながら大きく成長し、木材として加工し建築物や家具として利用することで二酸化炭素を長期間貯蔵することができます。

さらに、木材は他資材と比べて製造時のCO₂排出量が少ない（例えば鋼材を100とした場合、木質資材は0.3～4.2）ことから、木材利用が進むことにより、カーボンニュートラルにも大いに貢献します。

わが国の森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、林産物の供給等の多面的機能を有しており、国民生活及び国民経済に大きな役割を果たしています。その中で国有林という資源を、最大限、地域に活かしていくことが大切だと思っております。当局管内の国有林には、世界遺産白神山地をはじめ、十和田八幡平国立公園、鳥海山、蔵王など風光明媚な自然資源が数多くあり、これらの国有林を利活用していただきたいと考えております。皆様のお役に立てるよう本年も努めてまいりますので、御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様一人一人にとって、実り多き素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年に当たっての御挨拶とさせていただきます。



地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!

林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

置賜地域の林業の担い手となるために

山形

山形県森林組合連合会

西置賜ふるさと森林組合 青木 琢真さん

当組合は、山形県最南端に位置する置賜地方の長井市、白鷹町、飯豊町、3つの森林組合が合併してできた森林組合です。

私が当組合へ入ったきっかけは、自然に関わる仕事がしたいと思って学んでいた山形県立農林大学校の林業経営学科の体験学習で、1、2年生の時にこの組合で仕事をしたことです。

現在は入組して4年目となり、技術班に所属しています。仕事の内容は、チェーンソーで木を切ったり、高性能林業機械のプロセッサやフォワーダを運転して木材の生産や搬出をしたり、また、刈払機での下刈や測量など様々です。機械を使った作業が多いため、仕事にはとにかく安全第一を最優先に取り組んでいます。私もそうですし技術班の仲間もそうです。

この仕事をしていて特にやりがいを感じるのは、間伐作業を終えた森林を見た時です。間隔をあけてずっと立つ木の1本1本が、生き生きしていると感じられて、自分たちが手入れをしたおかげだよと思いながら眺めるのが至福の時です。

技術班は、私を含めて20代前半の若い仲間が6名おり、チームワークも良く働きやすい環境です。皆さんも一緒に働きませんか。



フォワーダでの運材

国有林管理の最前線

青森

津軽森林管理署岩崎事務所

首席森林官 田村 伸哉さん

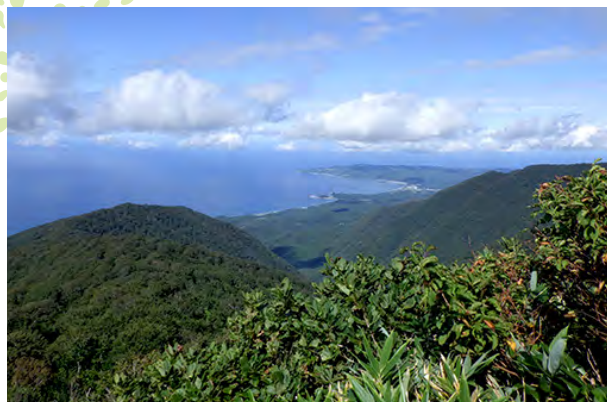
当森林事務所は、青森県西部深浦町岩崎地区にあり、白神山地世界遺産地域の白神岳を管内に持ち、景勝地の十二湖自然休養林を含む約20,427haの国有林を管轄しています。

近年、アカマツ・クロマツ林では、松くい虫による被害が再発しており、被害拡大防止のため日々林野巡視に取り組んでいます。青森県から上空探査をした画像データを提供してもらい、この秋はドローンも活用しつつGPS端末片手に被害が疑われる木の調査をしています。ナラ枯れ被害も継続して発生しているため、こうした調査等を行っているとは一日はあっという間に過ぎます。

また、十二湖や白神岳登山道等レクリエーションの森には貸付地が多く、この現地確認にも多くの時間を要します。特に白神岳の山頂にある避難小屋は、悪天候が続いたため昨年から5度目の挑戦で何とか現地確認ができました。

ここ深浦町岩崎地区は日本海に沈む夕日が美しく、撮影スポットも多くあります。私もたくさんの癒される絶景を写真に収めて、町の写真コンテストに個人的に応募するなど日々楽しんでます。

国有林管理の最前線であり、絶景にも出会える森林官の仕事と一緒にしてみませんか。



白神岳山頂から日本海を望む

地域の小学生との森林学習

三陸北部森林管理署久慈支署

岩手

当支署では、毎年地域の小学校から要請を受け、森林教室等を実施しています。今年度の一例としては、6月2日に洋野町主催の「久慈平岳山開き森林愛護少年団森林学習」へ講師として参加し、洋野町立林郷小学校の児童を対象に森林教室を行いました。

今回の学習内容は、「森林の持つ働き」「丸太切り体験」「フィールドクイズ」の3つを行いました。

丸太切り体験では、アカマツ、スギ、ナラ等数種類から自分が切る丸太を選び、ノコギリを使用して切る体験



丸太切り体験の様子

をしてもらいました。児童たちは樹種により硬さが違うことにとても驚いていました。自然の中で行ったフィールドクイズでは、4班に分かれ、全13問の動植物に関するクイズに協力して取り組んでもらいました。たくさんの自然に囲まれながら、班内で相談しクイズを解いていました。

今回の学習では、2年生から6年生が対象だったため、樹種の違う丸太を用意したり、興味を持つようなクイズを作成したり、全学年が楽しんで学習ができるように工夫を凝らしました。

当支署では今後も森林教室や地域のイベント等を通し、少しでも多くの方が森林の働きや大切さに気付き、自然に対する興味や関心を抱くような活動を行っていきたいと考えています。

安全第一で地域を守る

由利森林管理署

秋田

かみ ひたね

当署管内の由利本荘市鳥海町上直根地域では、なだれの発生による被害から人家等を守るため、令和4年度からなだれ対策工事を施工しています。

一般的になだれが発生しやすい傾斜は30～50度と言われており、本工事箇所の平均傾斜も約40度と、立っていることさえ大変な急斜面です。

このような状況から、安全に工事を進めるため、しっかりとした作業足場を作設し、早期の完成に向けて、工事受注者とともに取り組んでいます。

そして今回、本工事箇所をフィールドとして、秋田林業土木協会による安全パトロールと安全協議会が開催されました。



安全パトロールの様子

秋田県・山形県の工事業者で設立されている秋田林業土木協会は林業土木に造詣が深く、国有林内において、同じような条件の下で工事を施工しており、安全に関して、様々な視点から質問・意見が出され、貴重な時間となりました。

安全第一を意識して工事を進め、工事の早期完成に取り組み、地域の安全を守っていきます。



安全に施工するための作業足場

朝日山地の合同パトロール

朝日庄内森林生態系保全センター

山形

当センターでは毎年2回程度、関係機関やボランティア巡視員とともに朝日山地の森林生態系を保全するための合同パトロールを行っています。今年度は9月25日に朝日町^{かみくらやま}の上倉山、10月9日に西川町^{せいたいいわやま}の清太岩山でパトロールを実施しました。

どちらの山も朝日山地の主稜線から外れてはいませんが、登山口から急峻な尾根を黙々と登るルートで、ペース配分に気をつけながら巡視しました。登山口周辺にオオハンゴンソウは生えていないか、ナラ枯れが疑われるミズナラは無いかな、ニホンジカと思しき食痕や糞は無いかな、山野草が盗掘されていないかな、ブナの結実具合はどうか等、確認すべきポイントは山のようにあります。

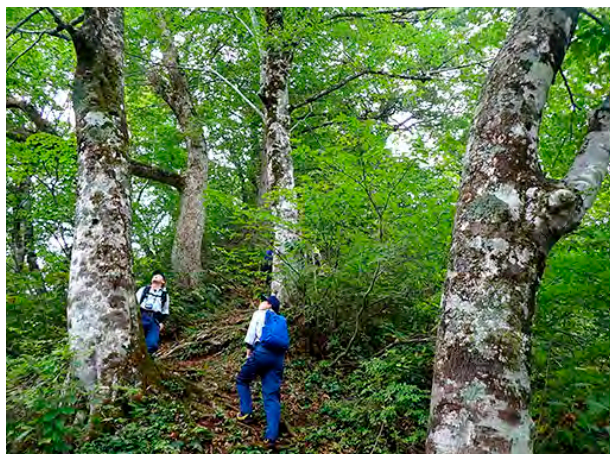
今年のパトロールでは登山道上に少しだけゴミが落ちていた程度で、特段の異常は見られませんでした。来年以降も引き続きパトロールを継続し、朝日山地の森林生態系の保全に努めていきます。

今回のパトロールの様子については、今年度リニューアルした当センターの広報誌にも掲載しましたので、そちらもぜひご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/asahi/koho/20230802.html>



広報誌「朝日庄内の風」→



登山道沿いのブナの結実にはバラツキがありました

高国秋田杉高品質材の計画的な供給に向けて

米代西部森林管理署

秋田

米代川流域は秋田県の北部に位置し、日本三大美林の一つである天然秋田杉の産地と知られ、藩政時代から木材関連産業や地域経済の発展に大きな役割を果たしてきました。

天然秋田杉の伐採は資源保護の観点から平成24年度で計画的な伐採を終了しました。そこで東北森林管理局では、代替材となる高齢級人工林スギの計画的な生産・供給をするため、令和4年度から東北森林管理局高品質ブランド材規格「高国秋田杉」を制定し、市場へ提供しています。

ブランド材の対象となるのは80年生以上の高齢級の秋田杉で、機械化の進んでいない昭和初期に植林されたものが大部分を占めています。植栽箇所までスギ苗木を背負っての運搬や人力鎌による炎天下での下刈作業（植林した苗木等の成長を妨げる雑草を刈り払う作業）など重労働をしながら、立派な秋田杉に育て上げた先人たちの努力の結晶です。

高齢級の秋田杉は建築用材等としても価値が高く、安定的な市場への供給により地域の活性化にもつながります。天然秋田杉に匹敵する品質を認定し付加価値を高めながら、今後も計画的な供給に取り組んでいきます。



市場に出材された高国秋田杉

白い森のマタギ文化と自然を楽しむために

置賜森林管理署

山形

当署管内の小国町は、町の約9割を森林が占めており、町を代表するブナ林と冬季に降り積もる雪のイメージから「白い森」と表現されています。

小国町には自然と共生するマタギ文化が今も伝えられ、毎年ゴールデンウィーク頃には「小玉川熊まつり」が開催され、射止めた熊の冥福を祈りながら、猟の収穫を山の神に感謝する儀式が300年余にわたって行われています。まつりでは、マタギが実演する「熊狩り模擬実演」も行われています。



熊まつりの神事の様子

マタギとして、国有林に入林する際は「鳥獣の捕獲のための入林届」の提出が必要になります。平成30年に北海道森林管理局管内で狩猟者の誤射により職員が亡くなる事故が発生しました。これを教訓に二度と狩猟事故を起こさないためにも「入林届の提出」「立入禁止区域の確認」「狩猟中看板の設置」「入林日時の連絡」をしたうえでの狩猟にご理解とご協力をお願いしています。

なお、登山などレクリエーションの目的で入林する場合は手続き不要ですが、狩猟やドローンの飛行目的などで入林する際は入林届の提出が必要になります。ご不明な場合は管轄している各森林管理署へご確認ください。

持続的な林道利用に向けて

秋田森林管理署湯沢支署

秋田

林道は林の中に作られる道路のひとつです。主に森林整備や木材の運搬に用いられるほか、地域住民の生活道路としての役割や、登山などのレクリエーションにおける、アクセスの手段としての役割も担っています。

当支署では、林道を安全に利用するため、林道を定期的に点検しています。林道を作ったまま放置しておくと、雨や風の影響で、倒木や土砂が道路をふさぎ、車が通行できなくなり、林道の機能が失われてしまいます。林道を安全に通行できる状態に維持するためには、日頃のメンテナンスが必要です。

点検の結果、車が通行できないほど大規模な被害があった場合は、工事などで道路を復旧します。一方、土砂が溜まった排水溝の掃除、路面を流れる水の処理、雨によって削られた道路面の補修、道路上の落石除去、見通しの悪い箇所の草刈りなど、小規模な支障であれば、職員の手によって林道のメンテナンスを行っています。



職員による排水溝の清掃の様子

これからも林道路網の整備を進めると同時に、今ある林道を長く安全に安心して使い続けることができるよう、林道の維持管理に努めていきます。

地域の方へ、“みえる”山づくりを

仙台森林管理署

宮城

当署では、令和8年4月を始期とする宮城南部森林計画区における第7次地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定に向け、現在伐採予定箇所の現地確認や事業実施箇所の図面反映などの作業を進めています。

伐採予定箇所の現地確認にあたっては、分収造林地（契約に基づき国有林内に地域の方々により植林頂いた箇所）の主伐予定が多くなる一方で、植林された方々の高齢化が進み、双方で山の現状を確認することは容易ではありません。

このため、当署に配備されているドローンを活用し、必要に応じて空撮映像により分収造林地の生育状況を確認できるよう取組を始めました。この取組により、分収造林地へ直接出向くことのできない方へ映像を使って生育状況を説明することが可能になり、適切な森林施業の推進に繋がっていくものと考えています。

また、今年度の立木販売箇所においては、関係者向けに全天球カメラにより林内映像を撮影する取組も行いました。画像や映像は様々な活動へ活用が可能であると考えられますので、今後取組を加速し、林業の“みえる化”を進めていきたいと思っています。



分収造林地をドローン空撮した画像

ナラ枯れから森林を守る！！

三八上北森林管理署

青森

ナラ枯れ（ブナ科樹木^{いちようびょう}萎凋病）はミズナラ、コナラ、カシワなどの樹木が集団で枯れていく森林被害です。昆虫のカシノナガキクイムシ（以下カシナガ）が、産卵のため樹木に穴を開けて侵入しナラ菌を運び込むことで、樹木は道管を詰まらせ、水を吸い上げることができなくなり枯れてしまいます。

被害は全国に広がっていて青森県でも年々拡大傾向にあり、今年度初めて当署管内の横浜町で被害が確認されました。また、近隣においても被害疑いのある木が発見されたため、研究機関に検体を送付し、ナラ菌の感染有無を調査しています。

検体を採取した木は被害木と同じく薬剤によるくん蒸処理（伐倒後1m程度に切断、切り込みをいれ集積、薬剤を散布、シートで密閉）を実施しました。



伐倒くん蒸処理

ナラ枯れは広い森林に点々と発生するため、地上からの調査の他にドローンを活用し、上空から広く見渡すことで、被害木の確実な発見に努めています。

今後も関係機関と緊密に連携して、被害の拡大防止に取り組んでいきます。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



岩手県上閉伊郡大槌町

三陸中部森林管理署

人口 10,526人 (R6.10.31現在)

面積 200.42km²

町の木 ケヤキ

町の花 新山ツツジ

三陸沿岸地域のほぼ中央に位置し、古くから水産業・水産加工業のまちとして栄えてきました。また、町の9割を森林が占めており、海と山の恵みがある自然豊かな町です。

大槌湾には、ひょっこりひょうたん島のモデルになったといわれている「蓬萊島^{ほうらいじま}」があり、「ひょうたん島」の愛称で町民に親しまれています。



ひょうたん島(蓬萊島)

最高標高1,000mの新山高原には風力発電用の風車が立ち並び、雄大な光景を見ることができます。初夏にはレンゲツツジや山野草が咲き誇り、美しい景色が楽しめます。



新山高原

町では、野生鳥獣による農作物被害が深刻化していることから、「大槌ジビエソーシャルプロジェクト」の取り組みをしています。これまで害獣と呼ばれてきた鹿の命を、価値のある「まちの財産」にするため、「捕獲」「加工」「販売」「学び・体験」「ハンター育成」「事業者育成」というジビエサイクルを構築し、生命の循環を大切にしています。



野生鳥獣を探すハンター

また、水産業の取り組みとして令和2年度よりサーモン養殖を開始しました。大槌川の淡水のみで飼育した「桃畑学園サーモン」、淡水で育てられた稚魚が吉里吉里沖のいけすで成長した「岩手大槌サーモン」。森の恵みが川や地下水を通じて大槌湾・船越湾に注ぎ、ミネラル豊富な海の栄養になり、美味しいサーモンが育ちます。

毎年6月には町の一大イベント「岩手大槌サーモン祭り」が開催され、サーモンのつかみ取りをはじめ、サーモンの特売やサーモングルメなどが味わえます。



食が豊かで美しい自然があふれる大槌町に是非お越しください。

(写真は全て大槌町提供)

お問合せ先：大槌町産業振興課 Tel.0193-42-8725

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。



山形県最上郡金山町

山形森林管理署最上支署

人口	4,712人 (R6.11.30現在)	面積	161.67km ²
町の木	金山杉、ブナ、ヤマボウシ	町の花	カタクリ
町の鳥	クマタカ		

山形県東北部に位置し、東西約18km、南北約14kmのほぼ三角形をなしており、北と西は真室川町、東は秋田県湯沢市、南は新庄市に接しています。樹齢約300年を超える「金山杉」や、白壁を用いた金山住宅で知られ、景観づくりに力を入れています。

金山町は2025年1月1日には町制施行100周年を迎え、様々なイベントが開催されるなど、町全体が活気に満ちています。また、町内では地域おこし協力隊による新たな取り組みが始まっています。

協力隊の大友淳さん（1年目）、澤野美香さん（1年目）が運営する週末カフェ&バー「カムロヒュッテ」は、ホテルシェーネスハイム金山1階で営業。ドイツビールや季節の料理を提供し、宿泊客や地元の人々の交流の場となっています。



週末カフェ&バー「カムロヒュッテ」を営む大友さん、澤野さん

また、川村佳恵さん（1年目）は移動式本屋「かぷりば」を運営。書店のない町で本に親しむ機会を作り、将来的には観光案内所やコミュニティ



移動式本屋を営む川村さん

スペースを併設した文化交流施設の開設を目指しています。

神室トラウトファームでは、池田達哉さん（2年目）がイワナ養殖業を継承。神室山の沢水と金山川の流水を活用し「神室イワナ」と「金やまめ」を養殖。2024年秋には管理釣り場「神室フィッシャーマンズロッジ」をオープンしました。



イワナ養殖業を二代目・池田さん（写真中）が継承

最後に、本間真生さん（4年目）は、「生きることを自らの手でつくる」という理念のもと、かわらばん「やんばい」の制作や子育て中のママ向けコミュニティ「ママズサークル」の運営などの活動を展開。今後も金山町魅力を発信し続けていきます。自然と人の温かさに溢れる金山町は、100周年を機に、更なる発展を目指しています。



かわらばん「やんばい」を手を持つ本間さん

（写真は全て金山町提供）

お問合せ先：金山町産業課 Tel.0233-29-5640

より詳しい市町村の魅力はこちらから→



国有林モニター制度

林野庁では、国有林野の管理経営に国民の皆様の御意見・御提案を役立てるため、「国有林モニター制度」を設けており、現在、東北森林管理局では令和6・7年度モニターとして管内5県にお住まいの47名の方に御就任いただいています。

モニターの方には、毎月の広報誌等の送付の他、造林・治山事業等についての現地見学会を通して、国有林野事業への理解を深めていただき、アンケートへの回答やモニター会議により、御意見・御要望をお伺いしています。アンケートには森林と生活に関する一般的なものや、森林整備に対する意識調査も含めています。自治体や業界の方にも森林・林業・木材産業への国民の皆様の視点を知る上で参考にしていただける内容です。

モニターには山林所有者の方から全く森林と繋がりのない方までおられますが、国有林の様々な取組について知ることができ、モニター活動が良い勉強となっているというお声も頂戴しています。

これまでのモニター活動の概要やアンケート結果は東北森林管理局ホームページの「国有林モニター」のページに公表しています。是非御覧いただき、様々な方の視点を、新たな気づきへの一助としていただければ幸いです。

(<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/kokuminsanka/monitor/index.html>)



国有林モニターの詳細はこちらから→



現地見学会の様子（眺望山自然休養林での散策）

御関心のある方は、東北森林管理局企画調整課
(TEL:018-836-2228)へお問合せ下さい。

ドローン技術研修を実施

東北森林管理局では、令和4年度から国有林の職員に加え、各県及び市町村の林務担当職員等のみなさまを対象に本研修を実施しており、今年度については9月11日～13日の3日間の日程で開催しました。

林業におけるドローン等の無人航空機の活用については、林業の省力化や低コスト化につながることが期待されており、国有林野事業や民有林行政においても業務の効率化を図るため、職員のドローン活用技術の取得向上を図ることが必要となっています。

そのため、本研修では、ドローン等の飛行実績が少ない初級者から中級者を対象に、操作技術や収集したデータの活用に必要な知識・技術を習得することを目的としています。

研修の中では、法令等の基本ルールや、森林情報の管理や解析等を行うことができるQGISの操作方法、自動飛行プログラムの作成、事業における監督・検査での活用等について講義を行いました。その後、秋田森林管理署管内の国有林において、自動飛行プログラムによるドローンの飛行等の現地実習を実施しました。



現地実習の様子

当局では、ドローンの更なる活用・普及のため、来年度以降も本研修の継続を予定しています。

ご関心のある方は、東北森林管理局技術普及課
(TEL:018-836-2023)へお問合せ下さい。

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

1/26 (日) 七滝氷瀑トレッキング

冬が創り出す自然のアートを見に行こう! (有料、会員限定)

主催 白神山地ビジターセンター

1/31 (金) ~ 2/24 (月) 十和田湖冬物語 2025

美しい月や、満天の星を背景に観る冬の花火、屋台村もある

主催 十和田湖冬物語実行委員会事務局

2/1 (土) ~ 2 (日) 第47回 青森冬まつり

雪の大型すべり台が目玉の青森の冬恒例イベント!

主催 青森観光コンベンション協会

2/23 (日) 白神スノートレッキング

静かな冬の森で心落ち着くひとときを

主催 白神山地ビジターセンター

岩手県

1/20 (月) 毛越寺二十日夜祭

新春の祈禱である常行堂の摩多羅神祭、結願の20日の祭

主催 毛越寺

2/1 (土) 網張の森でイグルーを作ろう!

雪のブロックを積んだイグルー(かまぐらのようなもの)を制作

主催 網張ビジターセンター

2/2 (日) 志賀来氷瀑スノートレッキングツアー

昔ながらの雪国かんじきを着用し氷瀑を目指す雪上トレッキング

主催 北上観光コンベンション協会

2月初旬 中尊寺節分会

歳男・歳女そして大相撲関取が豆をまき、境内は終日賑わう

主催 中尊寺

2/11 (火) 一関市・大東大原 水かけ祭

366年前から続く岩手県指定無形民俗文化財の天下の奇祭

主催 一関市・大東大原水かけ祭り保存会

2/8 (土) ~ 16 (日) 龍泉洞冬まつり

幻想的なイルミネーションと洞内の夢灯り。屋台やテントも登場!

主催 龍泉洞事務所

宮城県

1/20 (月) ~ 3/3 (月) こけしびなまつり

「木地雛」とも呼ばれるこけし雛の展示、制作の様子も見学できる

主催 みやぎ蔵王こけし館

2/1 (土) えぼし雪上花火大会

高原ゲレンデ上部より約1,000発の花火とたいまつ滑走もある

主催 みやぎ蔵王えぼしリゾート

2/1 (土) ~ 2 (日) 満喫!蔵王の冬

蔵王の自然に親しむ活動を通して、親子の絆を深める

主催 蔵王自然の家

2/1 (土) ~ 3/3 (月) 弥治郎こけし村の雛の宴展

「こけしびな」や「こまびな」など、愛らしい雛人形を展示・即売

主催 弥治郎こけし村

2/15 (土) 蔵王に登ろう! 山ガール教室③

蔵王の自然の美しさや環境に触れ、登山の楽しさを味わえる

主催 蔵王自然の家

秋田県

1/25 (土) ~ 26 (日) 比内とりの市

千羽焼きやきりたんぼ鍋、焼き鳥など比内地鶏を存分に堪能できる

主催 大館市

2/7 (金) ~ 9 (月) なまはげ 柴灯まつり

幻想的な柴灯火のもとで勇壮で迫力あるナマハゲが乱舞する

主催 男鹿市

2/8 (土) ~ 9 (日) 大館アメッコ市

ハチ公通りにアメ屋をはじめとした様々な露店が軒を連ねる

主催 大館市

2/14 (金) 十二所かまくらやき

燃えさかる俵をふりまわし、無病息災と五穀豊穡を祈願する

主催 大館市

山形県

1/17 (金) 笹野観音十七堂祭

無病息災を祈願する火渡りの荒行が行われる

主催 笹野観音幸徳院

1月 中旬 ~ 3月 中旬 小野川温泉 かまくら村

温泉街に「かまくら村」が出現! かまくら内からラーメンを出前?

主催 小野川温泉旅館組合

2/1 (土) ながい雪灯り 回廊まつり

市民手作りの雪灯りにより街に浮かび上がる「雪回廊」

主催 長井市観光協会

2/8 (土) ~ 9 (日) 上杉雪灯籠まつり

雪灯籠の灯りに誘われ、古き良き冬の東北の面影を回想する

主催 米沢四季のまつり委員会

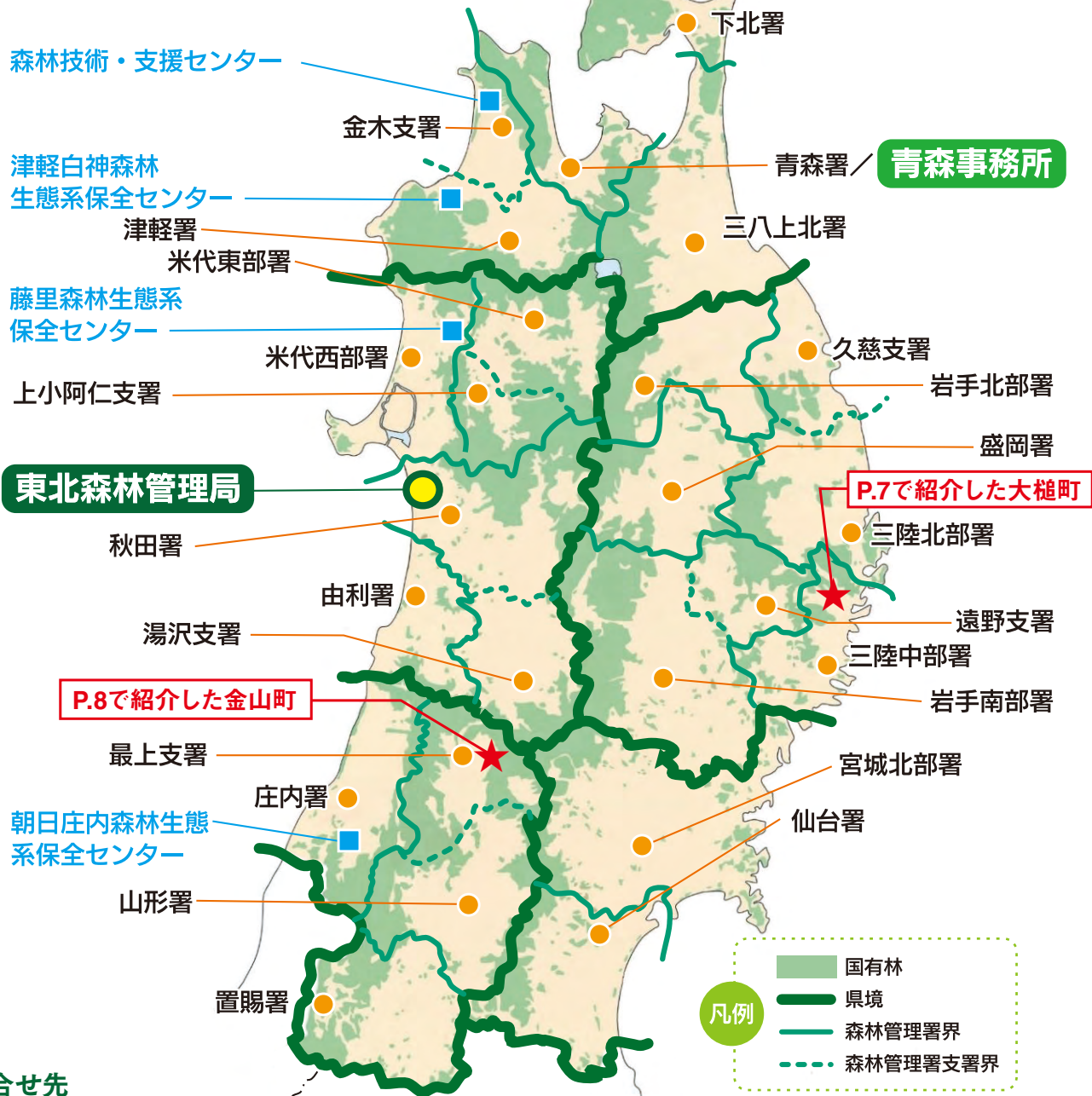
2/8 (土) ~ 11 (火) まほろば冬咲き ぼたんまつり

真っ白な雪景色に、大輪の牡丹が彩りを添える「真冬のお花見」

主催 高畠町観光協会

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
岩手県	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
宮城県	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670
秋田県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
山形県	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
福島県	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
新潟県	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.250

●発行日/令和 7 年 1 月

●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。